

## 「令和6年度伊達市経営に関する説明会議（伊達地域）」発言録

日 時：令和6年4月22日（月）

14時10分～14時50分

場 所：伊達福祉センター 大会議室

参加者：34/38人

（行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

### 【質疑応答】

#### **復旧・防災・減災関連**

##### **■避難所体制について**

行政推進員：台湾での大規模地震による避難所の状況を見た。伊達市の防災訓練の様子を見るとパーテーション等も設置されているようだが、伊達市の避難所の数やパーテーション等の備蓄状況をお聞きしたい。

危機管理担当参事：まず、市内の公共施設では103か所を指定避難所としてします。しかし、初めからすべての避難所を開設するわけではなく、災害の状況等に応じて優先順位をつけて順次開設するものとしております。パーテーション等は市として備蓄しておりますが、すべての避難世帯をパーテーションで区切ることは困難であるため、小さなお子様や障がいをお持ちの方等の世帯へ優先的に設置して運営していきます。また、市内の事業所と災害協定を締結しているため、非常時には物資等を提供していただきながら避難所運営にあたりたいと考えております。

##### **■伊達市公式アプリ「だてなび」について**

行政推進員：伊達市公式アプリ「だてなび」について、これまで河川の水位状況等は国土交通省のHPからカメラを見なければならなかったが、最近だと「だてなび」から確認することができるため便利だと感じている。しかし、以前町内会役員会があった際に「だてなび」をインストールしている人数を確認したところ16人中3人だった。若い世代についてはその存在すら知らない人が多い。もっと周知するべきではないか。

また、アプリ内の「避難所情報」についても、確認したい避難所情報へたどり着くまで3回ほどタップしなければならない。簡略化することはできないのか。いざというときに、どれくらい「だてなび」が機能するかがわからないため、伊達市の防災訓練の際に活用してほしい。

危機管理担当参事：「だてなび」とは、昨年10月に以前の防災アプリをリニューアルし使

いやすくしたものでございます。市としても市民の皆様に「だてなび」を登録していただきたいため、市の広報紙や防災の出前講座等でご案内させていただいておりますが、なかなか登録数が増えない状況でございます。今後も様々な機会を通じて周知してまいります。

避難所情報に関しましては、アプリの仕様上、現状では直接地図情報にアクセスすることが困難となっております。今後、徐々に使いやすいように改修を進めてまいります。

アプリを利用した訓練に関しましては、昨年度伊達地域で実施した訓練にて活用しており、訓練の情報について周知をさせていただいております。今後も同じように訓練にて活用していきたいと考えております。

## **まちづくり・地域振興**

### **■伊達ケーブルテレビについて**

行政推進員：4月13日に伊達ケーブルテレビの住民説明会があったが、今の11チャンネルの視聴ができなくなり、Youtubeで配信するという内容であった。ただYoutubeで配信されただけでは年配者はその動画を探すことが難しいと思われる。市のHPから簡単にその動画へたどり着けるようにするなど、どのような対応を検討しているのか教えていただきたい。何も配慮がされないと年配の方はどんどん伊達から離れてしまうように思える。

総務部長：今後「こんにちはだて」のみを配信するYoutubeチャンネルの開設を検討しております。また、スマートフォンのアプリと同様に、開いていただくと「こんにちはだて」のチャンネルのみが表示されるものも検討しております。そのほか、伊達市公式アプリでもYoutubeチャンネルにアクセスできるシステムへの変更も考えており、できるだけ簡単に利用できるシステムを試行錯誤し、今後は伊達地域に限定せず伊達市内の皆様にご視聴いただけるよう広く周知してまいります。